

小学生・作文

国土交通事務次官賞

土砂災害についての私の考え

今治市立亀岡小学校 四年 ^{しらいし}白石 ^{かほ}果穂

千四百二十二件。みなさんは、この数を何だと思えますか。実は、昨年度一年間に全国で起きた土砂災害の件数だそうです。このことをインターネットの記事を見て知った私は、とてもおどろきました。そして、一日当たり約四件近くの土砂災害が起きているということに、「私の地域は大じょうぶか。」とってしまうほど、とても不安になりました。

今年も、全国のいろいろなところで、ゲリラごう雨や集中ごう雨が起きています。特に、七月に九州地方を中心に西日本の各地をおそった集中ごう雨は、すさまじいものでした。各地で大きな土砂くずれが発生し、たくさんの人々の命が失われたり、家など人々の生活に欠かせない物などがこわされたりして、たいへんなひ害が出たことは、とても悲しくてつらいニュースとして、私の心に深く残りました。そして、この土砂災害をなくしたり、少しでもひ害を小さくしたりすることはないかと、私なりに考えてみました。

実は、私の母や祖母も土砂災害にあったことがあります。母がまだ子どものころ、台風が来て大雨を降らし、そのことが原因で家のうら山がくずれたそうです。幸いに母や祖母はけがをすることがなく、家も特に大きなひ害はなかったのですが、たくさん土が落ちてきたり、近くの木がたおれそうになったりして、たいへんだったと聞きました。しかも、その土砂くずれなどが起きたのは夜中だったので、「とても不安で、こわかった。」と母が真けんな目で話してくれました。

今は、土砂くずれ防止のためのブロックが積まれています。このように、土砂災害を防ぐために、土砂くずれ防止ブロックを造ったり、植林をしたりして土砂くずれを少しでもおさえることは、大切だと思えます。地球温だん化が進んで雨がたくさん降ったり、梅雨が長くなったりしても、土砂災害が起きないようにしておくことを、国や県、市などを中心に行っていけばいいと思えます。特に、植林は地球温だん化の原因である二酸化炭素をへらしてくれるし、私たち生物に必要な酸素を増やす働きがあるそうです。このように、地球にも私たちにも優しい植林を計画的に進めていってほしいと思えます。それから、計画的に木を切ることによって、土砂くずれやこう水が起こりにくい森林ができるということも聞いたことがあるので、そのようなよいことも、どんどん進めていってほしいです。

二つ目に考えたことは、私たちみんなが土砂災害が起こる前や起こりそうな時の「そなえ」をしておくということです。私の住んでいる町では、「自主ひなん」をする場所が決まっていて、すぐにひなんできる体制ができています。今は、地しんや津波による災害への「そなえ」は熱心に行われているようですが、土砂災害もたいへんおそろしい災害です。地しんや津波と同じように、危険な所の地図を作ってみんなに知らせたり、いろんな場所にテレビカメラを設置して、土砂災害が起こりそうな時間帯や場所などを、できるだけ早

くみんなに伝えることができるようにしたりして、一人一人の命や生活を守るように努力したらよいと思います。そして、できる限りの努力をすることによって、安全で安心な生活が送れるようになることを願っています。

三つ目は、私たちでもできる土砂災害防止の努力をするということです。四年生の社会科で、地域の交通安全やはんざい防止のために、自分たちで調べて「安全マップ」を作りました。私の家の近くには、土砂災害の危険性がある場所には立てかん板があり、みんなに注意をうながしています。私も、この安全マップや立てかん板のように、土砂くずれなどのおそれがある所をよく調べ、「土砂災害防止マップ」を作ってみたいと思います。そして、家族や身近な人からでいいので、土砂災害を防ぐために、注意をはらってほしいと思います。そして、地域の人々一人一人が、「自分の命は自分で守る」という気持ちで、土砂災害を少しでもへらしてほしいです。

天候などによる自然がもたらす災害も、祖母が母を育てていた時代に比べて変わってきているようです。それにともなって、土砂災害のひ害の大きさや様子も変わってきているのではないのでしょうか。自然によって起こる災害だから仕方がないと思わず、みんなの力を合わせて土砂災害を防ぐ取組の輪が広がっていくよう、私は願っています。